

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トウ・ミー

To Me

2

Feb 2020
Vol.297



【ときめき人】

尾形 賀代さん

【主な記事】

Zoom Up Tome 2020

【今月の表紙】

ドリームフラッグプロジェクト

(関連記事 7 ページ)



苦しみを 乗り越えて

佐沼中 3年

加藤 海音

Kato Kaito

第41回少年の主張全国大会
審査委員会委員長賞



「緊張したけど、練習通り自分の気持ちをそのまま発表しようと思って臨んだ。受賞しなかったわけではないが、うれしかった」と笑みをこぼした。

第41回少年の主張全国大会が2019年12月8日、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)で開かれた。佐沼中3年の加藤海音さんは「十人十色」と題し、自身が発達障害で苦しんだ経験を発表した。市、県、北海道・東北ブロック大会を突破し、市内初となる全国大会に出場。特別賞である審査委員会委員長賞を受賞し、全国約50万人の応募の中から上位5人の入賞者に選ばれた。

発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害などの症状が、低年齢で発現する障がい。加藤さんは、中学1年まで特別支援学級に所属していた。「小さい頃は、笑われたり意見を聞いてもらえなかったりする理由が分からなかった。小学5年生の頃から、周りの人と違うと感じ始め、毎日苦しかった」と、悩みながら生活していた過去を打ち明ける。

そんなとき、救ってくれたのが、特別支援学級の先生や友達、そして家族だった。「毎日早く時間が過ぎてほしいと

ばかり考えていた時期もあったが、先生、友達や家族が悩みや話を聞いてくれたので救われた。小学校の頃は特別支援学級に行くのが嫌だったが、小学校を卒業してから、そのありがたみや必要性を実感した」と感謝の思いを語る。

「発表しようと思ったのは、発達障害の理解を深めてもらいたいから。自分と同じように苦しんでいる人たちのために何かしたいと思った。発達障害があると、周りとは違う意見を言うこともあるが、悪気があるわけではない。自分の考えを話しているだけ。周囲の人が障がいを個性と考え、ありのままを受け入れることで、苦しむ人は減るはず」と訴える。

加藤さんの将来の目標はシステムエンジニアになること。「高校では勉強を頑張って夢の実現に一歩でも近づきたい。前向きに目標を持てるようになったのも助けてくれたみんなのおかげ。今も苦しんでいる人はたくさんいると思うが、救いの手を差し伸べてくれる人は必ずいる。そのことを忘れずに、目標を持って生活してほしい」。

障がいの苦しみを乗り越え、夢に向かって新たな一歩を踏み出した。

—— 十人十色 ——

「皆さんの目に、僕はどのように映るでしょうか」。

僕は、発達障害を抱えています。そのため、小学校から中学校一年生までの7年間、特別支援学級に所属していました。発達障害とは、主に先天性の脳機能障害が原因となって生じる発達の遅れです。どうしてそうなるのか、詳しいことはまだ解明されていません。発達障害にはいくつかの種類があって、僕の場合は人の気持ちや感情を読み取ることが苦手で、対人関係をうまく築けないことがあったり、特定のものに興味やこだわりを持ってしまったため、協調性に欠けることがあったりします。この障がいの厄介なところは、パッと見ただけでは分かりにくく、周りに理解されないという点にあります。そのため、障がいそのものよりも周りに理解されないことに苦しむことがたくさんあるのです。

小学校の頃、僕が発言すると笑いが起きたり、「もう一回言ってみて」と何回も同じことを言われたりしました。最初は状況が読めず、言われるまま繰り返していましたが、バカにされていると気づき、発言するのが怖くなったことがありました。

また、みんなで話し合っているとき、自分の意見を言うと「支援学級だから」と意見を除外されたり、意見が合わない「障がい者だからしょうがない」と一言で片付けられたりしました。頑張っているのに、伝わらない。見えないバリアが張られているように感じ、悔しくて悲しい気持ちになりました。周りの理解が得られないもどかしさ、特別支援学級への偏見や差別的な言動は、僕を苦しめました。

ただ、誤解を招く原因が僕にあったのも事実で、だからこそ特別な支援を受ける必要があったのです。僕には担任の先生とは別に、補助の先生が付いてくれました。自分をうまく表現できないことがあると、気持ちを代わりに伝えてくれたり、トラブルに気付いて助けてくれたりしました。もちろん、僕が間違っただけをしたときには、その場でどこがいけなかったのか教えてもらえたので、とてもありがたい存在でした。また、僕の家族にも感謝しています。みんなと違う僕を、無理に何かできるように訓練したり、できないことを怒ったりせずに、やりたいことを自由にやらせてくれました。特別支援学級に所属することを嫌だと思ったことは何度もありますが、その支援を受けることができたから、今の僕があるのだと思います。

皆さんはご存知ですか。偉大な発明家トーマス・エジソンが発達障害だったことを。Apple社を創設したスティーブ・ジョブズ、Windowsを開発したビル・ゲイツも発達障害だったといわれています。彼らは、周囲の人々と異なる特質を持ち、ある分野に強いこだわりと異常な興味を示しました。だから、いつも好奇の目で見られ、変人として扱われたそうです。しかし、その特質が新しい考えやアイデアを生み、パソコンやスマートフォンなど、今の僕たちの生活に欠かせない機器を生み出したのです。この話を知ったとき、僕は自分の障がいはある意味、特別な個性なのではないかと思うようになりました。現在、日本の小中学生の約7%が発達障害を持つというデータがあります。つまり、クラスに2、3人はいるという計算になります。僕がここに立って自分のことをさらけ出そうと思ったのは、僕と同じように苦しんでいる誰かの役に立ちたいと考えたからです。目に見えないからこそ、分かってもらえるように発信していかなければならないと思いました。

皆さんは、自分と異なる部分や劣るところにだけ目を向けていませんか。できることとできないことがあって当たり前。10人いたら、10通りの個性があるのです。障がいを一つの個性と捉え、その個性が輝くような社会にできたら、どんなにいいだろう。僕はこれからも、自分の個性を堂々と語ることで、発達障害への理解を広げていきたいと考えます。

大会の様子は「国立青少年教育振興機構」のホームページで閲覧できます。
<https://www.niye.go.jp/services/plan/syutyou/download.html>



日本管楽合奏コンテスト全国大会 高等学校S部門 優秀賞・特別賞(ヤマハ賞)

最後列左が千葉涼真部長



登米総合産業高 吹奏楽部

第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会は2019年11月17日、東京都文京区の尚美パリオホールで開かれ、15人以下で編成するS部門において登米総合産業高の吹奏楽部が特別賞であるヤマハ賞を受賞した。

7月に開催された全日本吹奏楽コンクール登米本吉地区大会では金賞を受賞するも、目標としていた東北大会出場はかなわなかった。部長の千葉涼真さんは「目標を達成できなくて残念だったが、それまでで一番いい演奏ができ、金賞を受賞したのは自信になった。このメンバーなら、練習を積みあげるといい演奏ができると思った」と、目標を日本管楽合奏コンテストに切り替え、再び歩みだした。

同コンテストは演奏曲を自由に選べる。話し合って決めた曲は松下倫士作曲の「繚乱」。母と子の苦しい運命と、その二人が互いを思う気持ち、そして離れ離れになった後に再会するという物語を表現した曲だ。曲が決まり、全国への挑戦が幕を開けた。ストーリー性のある曲を演奏する上で、何より求められるのは高い表現力。話し合いながら何度も曲を聴き、個人、パー

ト、全体練習を繰り返して曲の理解を深めていった。着実に実力を付けて迎えた予選、4度目の挑戦で念願の予選突破。同校初の全国大会への切符をつかみ取った。

全国大会当日、緊張の色が見える部員たちだったが「自分を信じてとにかく楽しもう」と、努力して練習してきた時間を自信に変えて演奏。豊かな表現力で奏でられたハイモニーが会場を魅了した。全参加者の演奏が終わり、固唾をのんで成績発表を待つ。張り詰めた空気の中、登米総合産業高の名前が呼ばれると、静寂を破り部員たちの歓喜の声が会場内にこだました。

顧問を務める小松裕樹教諭は「一人一人が自分やほかの部員と正面から向き合い、最後まで諦めずに努力し続けたことが結果につながった」と目を細める。千葉部長は「みんなの気持ちがあればららになって苦しい時期もあったが、この仲間たちだからこそ乗り越えることができた。最後に最高の演奏ができてうれしい。来年度こそは、吹奏楽部の最大の目標である全日本吹奏楽コンクール東北大会出場を果たしてほしい」と、後輩たちに目を向けてほほ笑んだ。



戸山流居合道全国大会 3 連覇
小野寺 藍子
 Onodera Aiko

戸山流居合道 範士八段昇格
日野 康壽
 Hino Kojyu

戸山流居合道宮城県連盟登米支部支部長の日野康壽さんは2019年5月27日、高い技術と支部長として後進の育成に努めていることが評価され、範士八段に昇格した。

日野さんは、退職後の2000年に居合いの道に足を踏み入れた。「インターネットで戸山流居合道を知り、心を静めて一刀に込める所作に引かれた」と石巻市の渡波支部に入門した。05年に日野さんが登米支部を設立。古い教えを学ぶことで心を照らし、磨くという意味の「古教照心」を修道訓に活動を始め、鍛錬を積み重ねて八段昇格を果たした。

「居合道は体だけでなく、集中力も鍛えられる。私たちは、人とのつながりを大切に、楽しく親しみやすい雰囲気でも活動しており、子どもからお年寄りまで気軽に参加できる。多くの人に居合道の魅力を知ってもらうためにこれからも活動していきたい」と意欲を語る。

第14回戸山流居合道全国大会は19年10月26、27の両日、佐賀県鳥栖市立鳥栖西中学校で開かれ、古川学園中の小野寺藍子さん(迫町八幡)が12、13回大会に続いて優勝し、3連覇を達成した。同大会は2年ごとに開催。小野寺さんは

「目標は優勝だったが、全国のレベルが高いので、自信はなかった。優勝できて素直にうれしい」と、えくぼを浮かべながら大会を振り返った。

居合道との出会いは、小学1年の終わりころ。日本の文化を学んでほしいと、母に誘われたことがきっかけ。初めは手に切り傷を作ることもあったが、日に日にできる形が増え、上達している実感を得られることが楽しくてたまらなかった。居合道では、ただ刀を振るだけでなく、相手を想像し、その相手の目を見る「目付け」が重要視される。練習でも本番を想定し、基本動作や目付けを反復。練習を通して身に付けた集中力が3連覇の原動力になった。

「今後の目標は4連覇と居合道の会員を増やすこと。これからも形の向上に取り組みしていきたい」と、4連覇を視界に捉え、精神を研ぎ澄まして刀を振る。

戸山流居合道

大正から昭和初期にかけて陸軍戸山学校で制定された軍刀操法を、誰もが学べるように居合道として確立したもの。登米支部には現在11人が所属し、随時会員を募集中。

同登米支部
 ☎050(3775)7724(日野)

明治村で健脚を競う

登米路でカップマラソン

「第34回カップハーフマラソン」は12月1日、登米総合体育館前を発着点に開かれ、2867人が秋の登米路を駆け抜けました。レースはハーフ、10^{キロ}、5^{キロ}など28種目で競われ、沿道から温かい声援がランナーに向けて送られました。28種目のうち7種目で本市のランナーが入賞しました(6位までの市内入賞者を紹介)。

【男子】▶ 3^{キロ}中学生＝②白石陽太(中田町)【女子】▶ ハーフ40歳以上＝①五十嵐妙子(中田町)▶ 10^{キロ}60歳以上＝⑥高橋みちえ(豊里町)▶ 5^{キロ}高校生～39歳＝⑤千葉由香子(米山町)▶ 5^{キロ}40～59歳＝④金野美香(迫町)▶ 2^{キロ}小学4～6年生＝④川嶋心結(中田町)▶ 【親子ペア】2^{キロ}＝⑥千葉琉杜・奈津(中田町)



穏やかな陽気の中、「みやぎの明治村」の町並みや北上川の景色を楽しみながら、自己記録更新を目指して走り抜けました。

ほっとするひととき

迫で日本一のはっと祭り

「第16回日本一はっとフェスティバル」(同実行委員会主催)は12月1日、迫中江中央公園で開かれ、約2万7千人が訪れました。

市内外から自慢のはっとを提供する36店舗が出店。来場者はさまざまな種類のはっと汁の中から自分好みの味付けを選び、舌鼓を打ちました。購入者が割りばしで投票する「はっと大賞」には、チャチャワールドいしこしの牛すじはっとが2年ぶり2度目の頂点に。佐藤礼旺さん(29)＝迫町泥内＝は「子どもがはっと好きなので来てみました。いろいろな味のはっとが楽しめていいですね」と家族で味と思い出を分け合っていました。



会場では、数種類のはっと汁を家族や友人と分け合いながら、おいしそうに食べる人たちであふれていました。

冬晴れの下で大熱戦

PGアイリスオーヤマ杯

「アイリスオーヤマチャレンジカップ・パークゴルフ東北オープン選手権大会」(日本パークゴルフ設計コンサルタント協会、東北パークゴルフ国際交流実行委員会主催)は12月14日、高森パークゴルフ場で開かれ、市内外から183人が参加しました。

大会は、スポーツを通じた体力の維持・増進と親睦を深めることで、明るい生活環境を充実させることなどが目的。全国屈指の実力者も参加する中、男性の部をスコア116で優勝した高橋静さん(71)＝栗原市＝は「日頃の練習の成果を発揮することができました。優勝できて良かったです」と喜びをかみ締めていました。



冬晴れの下、全国でも有数のテクニカル(戦略的)コースともいわれている高森パークゴルフ場でプレーを楽しみました。

文化知り絆を強める ポーランドの学生と交流

ポーランドのクラクフサンスター日本語学校と中田中生徒の交流事業は12月17日、中田中学校で開かれ、ポーランドから生徒9人が訪れました。

交流事業は、ポーランドのボートチームが長沼を東京オリンピックの事前合宿地に選んだことがきっかけで開催。同日本語学校と以前から交流のあった仙台白百合学園高の協力を得て実現しました。互いの学校行事や文化を紹介したり、ダンスを踊ったりしながら交流。中田中1年の菊田桔平さんは「ポーランドの文化を知ることができました。オリンピックではポーランドを応援するので頑張ってほしい」と期待を寄せました。



中田中の生徒と一緒に給食を食べるMaria Adamekさん。「友達のように接してくれたので楽しかった」と笑顔を見せました。

支え合う気持ち胸に 東和中生徒が市に義援金

東和中2年の生徒4人が12月18日、市役所迫庁舎を訪れ、令和元年台風第19号の被災支援に役立ててほしいと熊谷盛廣市長に災害義援金を手渡しました。

災害義援金は、生徒らが起業学習で得た収益。グループごとに模擬会社を設立し、10月26日に開催された「東和の秋まつり」で、企画から生産まで携わり手作りしたストラップや雑貨、手芸品などを販売しました。4人は「台風の被害を見て、自分たちにできることは何かをみんなで考えました。誰もがお互いを思いやる気持ちを持って支え合えたら、災害にも負けないもったいもちになると思います」と願いを込めました。



起業学習で社長を務めた4人(及川愛翔さん、佐藤陽菜さん、千葉洵奈さん、千葉愛斗)さんから市に義援金が贈呈されました。

未来へ希望をつなぐ 夢を描いて列車に旗振る

「ドリームフラッグプロジェクト」は12月19、20の両日、つやま幼稚園で開かれ、園児14人が「将来の夢」をテーマに描いた旗を作りました。

ドリームフラッグプロジェクトは、鉄道写真家の武川健太さんの提案で、園児が自分の夢を旗に描いて列車に振り、未来に希望を抱いてもらうことが目的。園児たちは幼稚園前を走る列車に向かって大きな声を掛けながら旗を振りました。高橋希帆ちゃん(6)＝横山1区＝は「クリームを絞るのが楽しそうなので、将来なりたいケーキ屋さんを描きました。みんなで旗を振ったのが楽しかったです」と笑顔を見せました。



つやま幼稚園は3月で閉園。園児たちが目の前を駆け抜けていく列車に旗を振ると、乗客も手を振って応えていました。

所得の申告相談が始まります

令和2年1月1日現在、市内に住所があり、次に該当する人が対象になります。

申告が必要な人

令和元年中に所得があり①勤務先から源泉徴収票を交付されていない②勤務先で給与の年末調整をしなかった③給与所得のほかに、農業や営業などの各種事業所得、不動産所得、配当所得、雑所得などの所得がある
※税務署(青色申告者、会計事務所)に依頼する人を含む)や国税電子申告・納税

システム(e-Tax)で申告する場合は、市役所での申告は不要です

事業所得について

事業所得(営業所得・農業所得・不動産所得など)がある人は、帳簿などの記帳・保存が義務化されています。申告の際は、収支内訳書などを作成し、持参してください。

申告相談日について

地域によって申告相談日が異なります

また、申告期間中、各申告会場で日曜日(1日だけ)の申告相談を実施します。日程は、申告会場ごとに異なります。受付時間は、各会場とも午前が8時45分から11時まで、午後は1時15分から3時30分までです。

申告相談の日程を昨年に比べ大幅に変更しています。申告相談の日程や申告相談時に必要なものは、各世帯に配布している「所得の申告相談について(ご案内)」を確認してください。

附表提出による申告

次のいずれかに該当する場合は、申告書附表を提出することで申告したことになります。①収入がまったく無かった(他市町村にいる家族の扶養に入っているなど)②収入が障害者年金、遺族年金、失業給付などの非課税所得のみ

※申告書附表は「所得の申告相談について(ご案内)」に添付しています。必要な項目を記入し、各申告会場、または各総合支所市民課に3月16日(月)まで提出してください

税務署で申告をお願いします

次のいずれかに該当する場合は、税務署で申告をお願いします。①青色申告をする②過年分(平成30年分以前)の申告をする③取用以外で土地、建物などの不動産を売却した④株式や先物取引所得がある⑤雑損控除(繰越損失)の申告をする⑥住宅借入金等特別控除の適用を受ける⑦相続税法対象年金の申告をする⑧初めて営業、不動産の申告をする⑨利子、上場株配当の申告をする
また、死亡した人で、準確定申告が必要な場合は、税務署に案内することになりますので、ご了承ください。

ご不明な点は、事前に総務部税務課まで相談ください。

【問い合わせ】総務部税務課(市民税係)
0220(22)2163

税務署からのお知らせ

申告書作成会場の開設について

【開設場所】佐沼税務署 1階特設会場
【開設期間】2月17日(月)～3月16日(月)
※土日、祝日は開設していません
※開設期間前は申告書作成会場を設置していませんので、開設期間中にお越しください
【相談受付時間】午前9時～午後4時
【開設時間】午前9時～午後5時
※申告書作成会場は大変混雑しますので、開設時間内に申告書を作成できるよう、早めにお越しください
※混雑状況によっては、早めに相談受付を終了する場合がありますのでご了承願います
※申告書や申請書などにはマイナンバーの記載が必要です
【問い合わせ】佐沼税務署
☎ 0220(22)2501

『スマホ』で確定申告

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用すれば、お手持ちのスマートフォン、タブレットで所得税の確定申告書が作成できます。
■スマホ専用画面の対象範囲が拡大
令和元年分の確定申告から、給与所得は、従前の年末調整済みで支払先が1カ所の人に加えて、年末調整が未済の人、支払先が2カ所以上の人にも対応します。また、新たに公的年金などを含む雑所得や生命保険金などの一時金、満期返戻金を受け取った場合などの一時所得にも対応します。
※申告内容によっては、スマホ専用画面をご利用いただけない場合もあります
※詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください
[HP] <https://www.e-tax.nta.go.jp/>



Information

02

市医療局職員を募集

【職種、採用予定人員など】

募集職種	採用予定人員	受験資格
看護師	3人程度	【免許保有者】昭和45年4月2日以降生まれの人 【免許取得見込者】昭和55年4月2日以降生まれで、令和2年3月31日までに卒業および免許取得見込みの人（※長期勤続によるキャリア形成の観点から応募資格に年齢制限を設けています）
臨床工学技士	1人程度	臨床工学技士の免許を持つ、または令和2年3月31日までに卒業および免許取得見込みの人

【試験日程】2月9日(日)

【試験会場】登米市民病院 地域医療連携センター(多目的ホール)

【試験方法】小論文試験、人物(面接)試験、健康診断、資格調査

【受験申込書の配布】申込書は、医療局経営管理部経営管理課で配布します(午前8時30分～午後5時15分[平日])。郵便で請求する場合は、封筒の表に「(職種名)採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を記入した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください。詳しくは、市または医療局のホームページをご確認ください(※申込書は、市または医療局ホームページからダウンロードできます)

【申込期限】1月31日(金)(※郵送の場合は、受付期間中の消印のものに限ります)

【受付時間】午前8時30分～午後5時15分(平日)

【合格発表】2月19日(水)に合格者の受験番号を市および医療局ホームページに掲示し、受験者全員に結果を郵送で通知します

【合格から採用までの手続き】合格者は任用候補者名簿に登録し、登録者の中から採用者を決定します。合格者全員が採用されるとは限りませんのでご注意ください。採用は令和2年4月1日(免許取得見込者については5月1日)の予定です

【申し込み・問い合わせ】

医療局経営管理部
経営管理課(人事係)
〒987-0511登米市追町
佐沼字下田中25番地
(登米市民病院内)
☎0220(21)6888

Information

03

台風19号による被災者の 国保税などを減免

令和元年台風第19号で被災した人の被害状況により、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を減免します。

減免は令和元年度に課税した現年度分が対象で、申請が必要です。減免の割合などは、被災状況により異なります。詳しくは、税務課へお問い合わせください。

【問い合わせ】総務部税務課(国民健康保険税係)

☎0220(22)2163

■減免の対象になる税・保険料

		国民健康 保険税	介護保険料	後期高齢者 医療保険料
減免対象	普通徴収(納付書・口座)	5期以降	5期以降	4期以降
	特別徴収(年金天引き)	10月以降の年金天引き分		

■減免の対象になる災害状況など

区分	申請に必要な書類など
主たる生計維持者が死亡したり傷病を負った	死亡診断書の写し、医師の診断書など
主たる生計維持者が行方不明	警察に提出した行方不明の届け出の写しなど
主たる生計維持者が居住する住宅が被害を受けた(介護保険の場合は本人が居住)	り災証明書など (全壊・大規模半壊・半壊・床上浸水)
主たる生計維持者の収入が減少した(保険金などの補てん額を控除しても、減少額が前年の10分の3以上)	・減少額が分かる書類、保険金など補てん額が分かる書類など ・失業や廃業の場合は、その事実が確認できる書類など



り災証明書・被災証明書の 申請受付は1月31日まで

令和元年台風第19号で被災した家屋の「り災証明書」および家屋以外の建物や家財などの「被災証明書」の申請受付は、令和2年1月31日(金)で終了します。

申請には写真などの添付が必要です。詳しくは税務課またはお近くの総合支所市民課へお問い合わせください。

【問い合わせ】総務部税務課(固定資産税係)

☎0220(22)2163

あなたの声を市政に

市政モニター

市は、市政に市民の意見や要望を反映させ、住みよいまちづくりやサービスの向上を目指すため、市政モニターを募集します。

【定数】20人以内

【内容】①市政に対し、建設的な意見や要望などを随時提出
②モニター会議(年3回程度)への出席
③市政についてのアンケート調査などへの回答
④市長から出席の要請がある会議などへの出席

【任期】委嘱の日から年度末まで

【資格】①20歳以上で、市内に1年以上住んでいる
②地方公共団体の職員でない
③モニターの職務を積極的に履行できる

【応募方法】①住所②氏名③生年月日(年齢)④電話番号を任意の様式に記入し、総務部長公室まで持参するか、電子メール、郵送のいずれかで申し込みください

【募集締切】2月14日(金)

※郵送の場合は、募集期間中の消印のものに限る

【申し込み・問い合わせ】総務部長公室(広報広聴係)
〒987-0511/登米市
迫町佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2090
✉kohoh@city.tomeniyagi.jp

市景観形成会議委員

市景観計画の推進に当たり、市民の意見を反映させるため、市景観形成会議委員を募集します。

【募集人数】3人以内

【内容】市景観条例や市景観計画に定める事項などについて審議

【任期】委嘱の日から2年以内
【資格】①20歳以上で、市内に住んでいる
②景観について関心を持ち、公共的な観点から意見が述べられる
③市議会議員および市職員ではない
④市税を滞納していない

【応募書類】①応募申込書
②市税の納付状況確認同意書
③作文「私が考える市内景観資源の活用策」について、4000字

から800字程度にまとめてください

※応募書類は建設部住宅都市整備課、各総合支所市民課に備え付けているほか、市公式ホームページからもダウンロードできます

【応募方法】所定の応募申込書と同意書に必要事項を記入し、作文と一緒に、次のいずれかの方法で提出してください
①住宅都市整備課へ郵送
②住宅都市整備課またはお近くの総合支所市民課へ持参

※応募書類は返却しません
【募集期間】1月20日(月)～2月18日(火)

※郵送の場合は、募集期間中の消印のものに限る

【選考方法】選考委員会で選考し、市長が委嘱します。選考結果は応募者全員に通知します
【申し込み・問い合わせ】建設部住宅都市整備課(都市整備係)

〒987-0602/登米市
中田町上沼字西桜場18
☎0220(34)2316



牛やニワトリなどの飼養状況を調査します



場合は、家畜保健衛生所の指導の対象になります

口蹄疫(CSF(豚コレラ)、鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生予防・まん延防止のために、家畜または家畜を飼っている人は、飼養衛生管理状況などの報告が必要です。

※昨年度報告した人には、郵送などにより別途連絡していただきます

※報告書の提出がない場合や不適切に飼養管理されている

▼産業経済部農産園芸畜産課(畜産振興係)
☎0220(34)2713
▼県東部家畜保健衛生所(防疫班)
☎0220(22)2395

法務大臣から 人権擁護委員に委嘱

佐々木武雄さん(豊里町・再任)、佐々木喜代子さん(登米町・再任)、金正男さん(石越町・新任)が1月1日付けで、人権擁護委員の委嘱を受けました。

人権擁護委員は、私たちのまちの身近な相談パートナーです。「これは人権問題ではないか」、「法律が分からないので困っている」ときは、一人で悩まずご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

【問い合わせ】
仙台法務局登米支局
(総務係) ☎0220(52)2070

Information
06

道路の損傷を見つけたら スマホで通報

市は、スマートフォンなどのアプリを使用して、道路の損傷など、不具合箇所の位置や現場の状況をいつでも通報できる「市民通報システム」を導入しています。

■利用方法

▼専用アプリのダウンロード・ユーザー登録
①Android端末はGoogle Playストア、iPhone端末はApp Storeから「Fix My Street」で検索し、アプリをダウンロード②アプリを起動してメールアドレスや氏名などの

必要事項を入力し、ユーザー登録

▼投稿方法
①道路で不具合を発見したらアプリを起動②不具合のある箇所の写真を撮り、コメントを入力して送信

※アプリのダウンロードや投稿などにかかる通信料は、利用者の負担となります

※市で投稿内容を確認の上、対応した内容や状況を随時更新しますので、スマートフォンなどで手軽に対応状況を確認できます

■利用上の注意

▼道路の穴や倒木など、緊急

を要する場合は、今までと同様、各総合支所または建設部土木管理課まで電話でご連絡ください

▼プライバシーに関するものや内容が不適切と判断したもののなどは、市で修正・削除することがあります

▼道路に関する不具合が対象のため、それ以外の整備要望には対応できません

Fix My Street 検索



詳細は「Fix My Street Japan」のホームページをご覧ください

【問い合わせ】建設部土木管理課（道路河川管理係）

☎0220(34)2365

Information
07

4月から、上下水道の 組織が一つになります

市民生活の重要なライフラインである水道事業と下水道事業の組織が令和2年4月1日に統合し、「登米市上下水道部」になります。

組織の統合に伴い、水道事業と下水道事業の窓口が一元

化され、市民サービスが向上するとともに、効率的な管理運営や、災害時の危機管理体制の強化などが図られます。

現在、市役所中田庁舎で取り扱っている下水道に関する業務は、4月に新設する「上下水道部」に移行し、統合後の事務所は、市役所登米庁舎内の現水道事業所になります。

組織の統合に伴う水道料金・下水道使用料などの新たな手続きはありません。また、水道料金・下水道使用料に関する業務は、これまで通り「水道お客様センター」(☎0120(023)151)で担当します。

3月までの各種申請や問い合わせ先などは、これまでと変わりがありません。統合に伴う新たな問い合わせ先などについては、今後、広報紙などでお知

らせします。

【問い合わせ】

▼水道事業所水道管理課(経営管理係)

☎0220(52)3313

▼建設部下水道課(事業管理係)

☎0220(34)2359

統合のメリット

- 窓口の一本化による市民・事業者へのサービス向上
- 災害時などにおける危機管理体制の強化
- 共通する業務の一元化による効率化やコスト削減
- 効率的な事業計画の策定や事業の実施

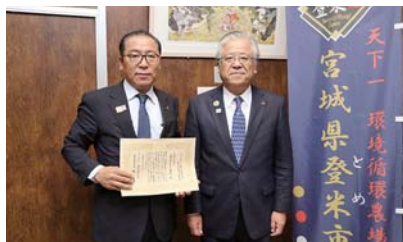


保呂羽浄水場



佐沼環境浄化センター

「ディスカバー農山漁村の宝」に 伊豆沼農産が選定



伊豆沼農産が選定された喜びを報告した伊藤代表(左)

地域の特産品や文化を生かし、活性化に取り組んだ優良事例「ディスカバー農山漁村の宝」(内閣官房、農林水産省主催)に、迫町新田の伊豆沼農産(伊藤秀雄代表取締役)が選定され、12月3日に総理大臣官邸で開かれた式典で選定証が手渡されました。

伊豆沼農産は「農業を食業に変える」を経営理念に、米と豚肉の自社食材を活用した加工施設、レストランや直売所を運営、食農体験、

農泊、インバウンド、地域高齢者や女性の採用など、1988年の創業時から6次産業化や付加価値型農業に取り組んでいます。

伊藤代表は「理想とする農村の産業化には『食』と『農』だけではなく、地域の人たちが培ってきた経験や知恵が欠かせない。今後も皆さんが生きがいを持って元気に活躍できる場を作り、持続可能な農村整備につなげていきたい」と力を込めました。

Information
08

市内2団体が
宝くじ助成で備品を整備

コミュニティ組織などの2団体が「令和元年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成事業）」で、備品などを整備しました。

この事業は、自治総合センターが宝くじ受託収入を財源に、コミュニティ組織などの健全な発展と宝くじの普及を目的として実施しています。整備した備品は次の通りです。

団体名	整備した備品
森地区コミュニティ推進協議会(迫町)	ホームプロジェクト、平太鼓など
つやま打囃子保存会(津山町)	長胴太鼓、附締太鼓など



Information
09

希望者に無料配布
広報紙保存用ファイル

出版社のサイネックスから広報紙を保存するファイル5千冊が市に寄贈されました。制作費は広告料でまかなわれており、希望者に無料で配布しています。広報紙以外にも資料の保存などに活用いただけます。

数に限りがありますので、希望する人は各総合支所市民課にお早めに申し出てください。



い。
【配布場所】各総合支所市民課
【問い合わせ】総務部市長公室
(広報広聴係)
☎0220(22)2090

登米市の公共施設

⑩公共施設のLED化

～市民の皆さんと未来の公共施設と一緒に考えるため、公共施設の再編についてシリーズで紹介しています～

2020年に水銀汚染防止法が施行されることに伴い、特定水銀使用製品(※)に指定されている既存の照明は、規制開始日をもって製造・輸出・輸入が原則禁止となります。

このため、小中学校の体育館や市民体育館、屋外ナイターの照明灯など、本市の公共施設で使用している水銀灯について、LED化を検討しています。

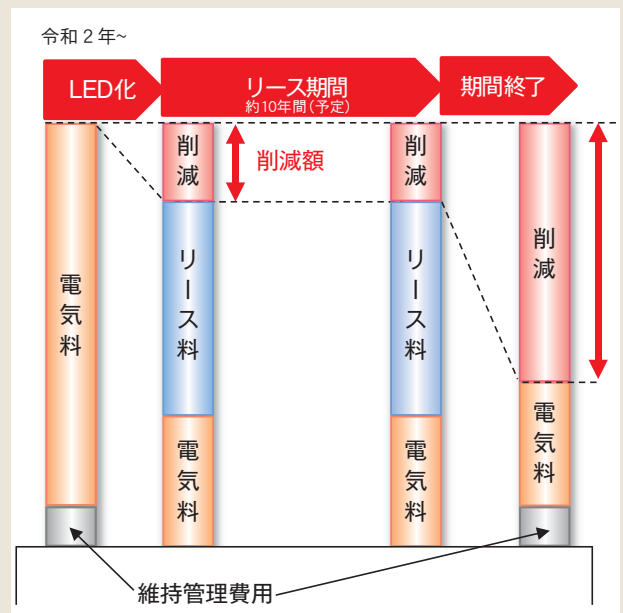
LED化によるメリット

- ①消費電力と電気料金が約66%削減
- ②二酸化炭素排出量が約66%削減
- ③光源寿命が約10倍延長

上記のようにメリットは多くありますが、LED導入には多額の費用がかかります。そこで、市と民間事業者で連携し、リース契約でLEDに切り替えていくことにより、初期費用の負担をなくして導入することが可能となり、維持管理費用の削減も期待できます。

さらに、LED化は小中学校の体育館や市民体育館、屋外ナイター照明灯だけでなく、長時間照明を使用する事務室や道路照明灯、防犯灯、公園灯などの街路灯についても経費の削減が期待できるため、計画的にLED化を推めていく予定です。

※特定水銀使用製品とは一般照明用の高圧水銀ランプのことを言います



【問い合わせ】総務部総務課(財産係)
☎0220(22)2091 FAX0220(22)3328
〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江2-6-1
✉somu-somu@city.tome.miyagi.jp

健康

2月の献血日程

- ① 1日(土)
 - ▶イオンタウン佐沼
10:00～11:45
13:00～16:30
- ② 16日(日)
 - ▶イオンタウン佐沼
10:00～11:45
13:00～16:30
- ③ 24日(月・振替)
 - ▶イオンタウン佐沼
10:00～11:45
13:00～16:30



※日程は変更になる場合がありますので、最新の日程は、市公式ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(健康推進係)
☎ 0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話
誰にも言えない気持ち
聞かせてください。
☎ 022(718)4343

ひきこもり
ひとりで悩まないで
宮城県ひきこもり地域支援センター
☎ 0229(23)0024

こども夜間安心コール

- 電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎ 022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
- 相談時間
毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎ 0229(24)2267

健康フォーラムで健康づくり宣言
市民一人一人が笑顔で健康に「いきる」まちづくりの実現に向け、「元気とめ！健康フォーラム」市民健康づくり宣言」を開催します。
【日時】2月1日(土)午後1時30分～4時
【場所】登米祝祭劇場
【内容】▼第一部 市民健康づくり宣言 ▼第二部 市民健康づくり宣言 ▼第三部 市民健康づくり宣言
「延ばそう！健康寿命」つながる、広がる、健康づくりの輪」／コーディネーター 芳賀博氏(桜美林大学教授)／パネラー 寶澤篤氏(東北大学東北メデイカル・メカバンク機構教授)、佐藤敬広氏(東北化学園大学准教授)、小原拓氏(東北大学東北メデイカル・メカバンク機構准教授) ▼展示コーナー 食育、運動、た

ばこ、こころの健康などに関する展示
【問い合わせ】市民生活部健康推進課(健康推進係)
☎ 0220(58)2116
妊娠、出産や育児について話してみませんか
妊娠中の生活を快適に過ごし、赤ちゃんを健康に育てるために、赤ちゃんサロンやマタニティサロンなどの教室を開催しています。先輩ママ、助産師や保健師などの専門スタッフからアドバイスや役立つ話が聞け、友達や育児仲間ができるチャンスです。気軽にご参加ください。
【対象】市内に在住の妊婦、1歳程度の乳幼児とその家族
【時間】午前10時～11時30分(受付開始 午前9時40分)
【申込方法】開催前日までに電話で申し込みください

事業名	開催日	開催場所・申し込み・問い合わせ	主な内容
こんにちは 赤ちゃんサロン	1月30日(土)	南方子育てサポートセンター ☎0220(58)5558	子どもの病気と予防接種
	2月18日(土)		離乳食を作ってみよう
	3月11日(土)		子どものお口の中の手入れ
わくわく マタニティサロン	1月16日(土)	迫子育て支援センター ☎0220(22)2524	妊娠・出産の経過・ヨガ
	2月13日(土)		沐浴・まごまご育て
	3月12日(土)		妊娠中のこころの学び
タッチケア講座 & ママストレッチ	1月22日(土)	米山子育て支援センター ☎0220(55)2313	子育てワンポイントレッスン & ママヨガ & ママエアロビクス
	2月26日(土)	迫子育て支援センター	
	3月6日(土)	米谷公民館 ☎0220(53)2006	

2月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当・予約先
14(金)	登米総合支所 13:30～15:30 医師 ☎0220(52)5054(登米総合支所)
18(火)	石越総合支所 13:30～15:30 医師 ☎0228(34)2113(石越総合支所)
19(水)	迫保健センター 9:00～11:00 臨床心理士 ☎0220(22)5554(迫総合支所)
28(金)	南方保健センター 13:30～15:30 精神保健福祉士・学校心理士 ☎0220(58)2113(健康推進課)

精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日曜日(土日、祝日を除く)まで、各予約先まで申し込みください。

登米市民病院小児科日曜日救急診療
●診療時間 9:00～17:00(受付16:30まで)
【問い合わせ】登米市民病院 ☎0220(22)5511

2月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
2(日)	米谷病院(東和町) ☎0220(42)2007	フジ歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)7751
9(日)	佐藤医院(豊里町) ☎0225(76)3420	さくら歯科医院(迫町) ☎0220(22)2210
11(火・祝)	上杉皮膚科医院(迫町) ☎0220(21)1380	かかの歯科医院(中田町) ☎0220(35)2552
16(日)	しのはらクリニック(米山町) ☎0220(23)7387	布施歯科医院(迫町) ☎0220(22)2048
23(日・祝)	佐藤内科医院(迫町) ☎0220(22)2160	中江歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)7767
24(月・振替)	サンクリニック(南方町) ☎0220(29)6060	まつお歯科医院(迫町) ☎0220(28)2311

●診療時間 9:00～17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月～金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



地域特性を知り災害に備える

東表行政区による「防火講習会および自主防災組織研修会」は12月4日、吐出生活改善センターで開かれ、地域住民約40人が参加しました。

防火講習会では、火災の原因になる暖房器具を使う際の注意点などを消防署員が説明。自主防災組織研修会では、災害アドバイザーから東表地区の土地の標高や地域特性などを学びました。台風19号で、市内が甚大な被害を受けたこともあり、参加者は真剣なまなざしで受講していました。

地元の特産品を求めにぎわう

「とよま産業まつり」(同実行委員会主催、千葉正憲^{まさのり}実行委員長)は12月1日、登米総合体育館前駐車場で開かれ、市内外から約4千人が訪れました。

当日は、産業まつりでお買い得な市内産の牛肉や豚肉、野菜、リンゴなどを販売。味くらべコーナーでは、市内産豚肉や登米産牛ステーキ、牛汁が振る舞われました。同時開催されたカップハーフマラソンの参加者も訪れ、各ブースには長蛇の列ができていました。

登米



東和



聖夜にきらめく星空のもとで

「冬休みクリスマスキャンプ」は12月25、26の両日、米川綱木親和会館で開かれ、東和町の小学生やジュニアリーダーなど29人が参加しました。

キャンプでは、空気砲から出てくる空気の流れを観察した後、実際にペットボトルを使ったミニ空気砲作りに挑戦。夜には美しい星空のもと、キャンプファイヤーやダンス、レクリエーションゲームなどを楽しみ、豊かな自然環境の中で充実した時間を過ごしました。

みんなで楽しむクリスマス会

「宝カフェ・クリスマスパーティー」(宝江コミュニティ運営協議会主催、田島幹雄^{みきお}会長)は12月15日、宝江ふれあいセンターで開かれ、児童ら約80人が参加しました。

マジックショーでは、パフォーマーじゃがりこ氏が本格的なマジックを披露。終始驚きの声が上がリ、会場は大盛り上がりとなりました。おいしいケーキを食べた後は、クリスマスプレゼントがもらえるピンゴ大会などが催され、子どもたちには笑顔があふれていました。

中田



豊里



令和もきらめく年末の風物詩

「豊里駅前冬の蛍通り点灯セレモニー&クリスマスパーティー」(同実行委員会、及川正彦実行委員長)が11月30日、陸前豊里駅前で開催されました。

点灯セレモニーでは、ヒップホップダンスやエレクトーン演奏が披露された後、LEDランプが点灯され、来場者から一斉に歓声が上がりました。サンタクロースが子どもたちにクリスマスプレゼントを配るなど、会場は一足早いクリスマスの雰囲気に包まれました。

いざというとき慌てぬように

米山支部婦人防火クラブ(畠山ひろみ会長)の「救急救命講習会」は12月7日、米山農村環境改善センターで開催され、会員22人が、救急救命処置を学びました。

講習会では、消防署南出張所の消防士がAEDの使用方法、心臓マッサージや応急手当の方法などを説明。緊急時やいざというとき慌てずに対応できるように、参加者全員で実演しました。参加者らは家庭でできる緊急時の対応方法について消防士に質問するなど、熱心に受講していました。



米山

石越



懐かしい顔ぶれと笑顔で再会

「第26回東京いしこし会総会・交流会」は11月30日、東京都台東区のグリーンパークで開催され、石越町出身者など61人が再会を喜びました。

交流会では、石越民謡同好会による民謡や会員による歌や踊りが披露。参加者は、地酒を味わいながら故郷の話に花を咲かせました。二階堂忠男会長は「多くの皆さんに参加いただき感謝しています。今後も若い会員を増やしていきたい」と次回の開催に向け、思いを新たにしました。

将来のために赤ちゃん抱っこ

「明日の親となる中学生の子育て理解講座」は11月27日、南方農村環境改善センターで開催され、南方中学校(千葉洋之校長、生徒218人)の3年生83人が参加しました。

講座は「命」「家族」「子育て」などの大切さを学ぶことが目的。実際に赤ちゃんを抱いたり、妊婦体験スーツを着て体の重さを体験したりしました。講座に協力した母親から、子育てや親になった時の気持ちなどの体験談を聞いた生徒たちは、妊婦の大変さや命の尊さを実感していました。



南方

津山



台風被害から早期復旧を願う

津山地域振興会、津山区長会、横山地区災害から人命財産を守る会が12月4日、宮城県庁で令和元年台風第19号による被害の早期復旧請願書を石川光次郎県議会議長へ提出しました。

請願書では、越水により床上浸水などの甚大な被害をもたらした南沢川・北沢川などの河川整備と、損壊した県道北上・津山線の整備を要望しました。請願書の内容は、第370回県議会で採択されました。

Books

2月のおすすめ図書を紹介

Monthly Hot Communication

今月は登米図書館です

一般向け

PICKUP_04 「21Lessons」



ユヴァル・ノア・ハラリ／著
テクノロジーや政治を巡る難題など、人類が直面している21の重要テーマを厳選。今の時代に、どのように行動すべきかが問われる現代人必読の一冊です。

PICKUP_05 医師が認めた！ 「究極のきくち体操」



菊池 和子／著、新村 直子／構成・文
頑張っただけでも、脳を使って体に意識を向けて動かすことで、若い脳と体を維持。メタボ、肩こり、物忘れなどの症状別の体操を紹介します。

PICKUP_06 「せき越えぬ」



西條 奈加／著
東海道・箱根の関所は、人生の峠を迎えた者に決断を迫る場所。たそがれを迎えた江戸の世で、若い関守の目に映る究極の人間ドラマが描かれた物語。

子ども向け

PICKUP_01 常識なのに！大人も答えられない 「都道府県のギモン」



村瀬 哲史／著
米の生産量上位の都道府県はなぜ日本海側に多いのか。コシヒカリとあきたこまちの関係は。大人でも難しい都道府県の疑問を分かりやすく解説します。

PICKUP_02 小学生にもとれる！ 「資格・検定カタログ」



鈴木 秀明／監修
勉強に役立つもの、興味あることが学べるもの、知っておくためになるものなど、たくさんの資格・検定を実際の問題とともに紹介。取りたい資格が見つかる一冊。

PICKUP_03 「かなしみがやってきたらきみは」



エヴァ・アイランド／作、いとうひろみ／訳
突然やってくる悲しみ。でも、悲しみは怖がらなくてもいい。悲しみという感情との付き合い方を、寄り添いながら温かいまなざしで描いた絵本です。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

雑誌スポンサーを募集します

市内図書館(室)では、雑誌コーナーの充実、利用者サービスの向上を目的に「雑誌スポンサー制度」を導入しています。

スポンサー制度は、図書館雑誌の購入費を負担いただく代わりに、最新号のカバーにスポンサーの広告を掲載する制度です。この制度により提供できる冊数が増え、利用者に大変喜ばれています。

知識・教養の向上をサポートする地域貢献や企業のPR活動として、スポンサーの協力をお願いします。

現在協力いただいているスポンサー (敬称略、50音順)
アベ美装、上杉皮膚科医院、太田組、カワウチ、川内印刷、爽陽、登米法人会、宮城石灰工業、みやぎ登米農業協同組合



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など
(中田図書館は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください
- 問い合わせ 追図書館 ☎0220(22)9820
登米図書館 ☎0220(52)5330
中田図書館 ☎0220(34)8081

This Month
Pick Up
Hot
Communication

Books

Health

Young

Dream

Child

Half
Century

One's
Home

12月中の3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



石川 悠碧くん
(迫町小友)



菅野 結斗くん
(迫町飯屋)



今野 愛彪くん
(迫町錦西)



鈴木 涼夏ちゃん
(迫町赤沼)



瀬戸 悠聖くん
(迫町江台)



千葉 絢友くん
(迫町鉄砲丁)



菱沼 歩華ちゃん
(迫町八幡)



富士原龍輝くん
(迫町山の内)



星 涼音ちゃん
(迫町栗葉)



山内 陽介くん
(迫町山の上)



木村 維吹くん
(登米町小島)



佐久田唯叶くん
(登米町岡谷地)



菅原あさひちゃん
(登米町入谷)



和田 華凜ちゃん
(登米町遠見台)



阿崎 武蔵くん
(東和町錦織1区)



飯塚 陽翔くん
(中田町蓬田)



佐藤 陽くん
(中田町十字)



羽生幸太郎くん
(中田町巻)



福島 彩加ちゃん
(中田町本町畑中)



星 海璃くん
(中田町蓬田)



熊谷 駿雨くん
(豊里町横町)



佐々木瑛叶くん
(豊里町白鳥)



高橋 賢くん
(豊里町保手)



遠藤 衣織ちゃん
(南方町原)



佐々木莉愛ちゃん
(南方町北本郷)



田口 凜桜ちゃん
(南方町大岳)



中川 柚ちゃん
(南方町新高石)

むし歯がなかった子は、市内9地区で31人中27人でした

いつまでもお元気で

おめでとうございます 祝100歳



高橋 忠一さん

大正8年12月20日生まれ
(南方町・北大畑)

忠一さんは、20歳でみね子さんと結婚し、家業の農業にいそしみました。現在は、中田町にある高齢者向け住宅「木もれ陽」に入所しています。
長寿の秘訣は目標があること。東京五輪の観戦が今の目標です。忠一さんは、「あつ」という間の100年。皆さんにも健康に注意して100歳を迎えてほしい」と笑顔で話していました。

米山町から豊里町へ嫁いだチヤ子さん。農業をしながら、5人の子どもを育て上げました。
編み物が得意で、手編みのセーターを家族へプレゼント。「隙間無く編まれてはいるから暖かい」と、ひ孫たちは今でも大切にしています。長寿の秘訣は、程よく食べること。家族は「一日でも長く生きてほしい」と話していました。



佐藤 チヤ子さん

大正8年12月9日生まれ
(登米町・上館)



阿部 たまきさん

大正8年12月29日生まれ
(津山町・柳風園)

19歳で盛さんと結婚し、家業の農業で6人の子どもを育て上げたたまきさん。お盆やお正月には、子どもや孫たちが30人以上集まり、みんなと話す時間をとても楽しみにしています。
現在は柳風園に入所し、カラオケ大会では自慢ののどを披露しています。家族は「いつまでも元気で長生きしてほしい」と話していました。

きよみさんは南方町板倉から農家へ嫁ぎ、4人の子室に恵まれました。
手先が器用なきよみさんの特技は編み物。数年前には、ひ孫にマフラーを編んであげました。現在も介護サービスを利用することなく、入浴や食事など、自分のことは全て自分でできます。自宅では新聞と相撲中継を楽しみに穏やかに過ごしています。



庄司 きよみさん

大正8年12月18日生まれ
(南方町・砥落)

及川 蒼さん(24)

おいかわ・あおい
南方町・畑岡

★**身長と血液型** 150㎝でA型です。

★**現在は** 迫町の「POLA I.STORY」でお客さまのエステをしたり、美容部員として化粧品を販売したりしています。美容関係の仕事に対して華やかなイメージがあり、憧れていたのが、今の仕事を選びました。お客さまの立場になって接客するのが難しいと感じることもありますが、職場の雰囲気がとてもいいので教えてもらいながら楽しく仕事をしています。お客さまから「肌が良くなったよ」などと声を掛けられるとうれしくなりますね。

★**自分の性格** マイナス思考で、いつも悪い方向に物事を考えてしまいます(笑)。

★**休日は** 活発なタイプで、あまり家にいません。仙台で服や雑貨を見て歩くことが好きです。見るだけで何も買わずに帰ってくることもありますね。

★**趣味は** 特にこれといった趣味がないので、探しているところです。最近は、スマホで好きな音楽グループの映像などを見るのが好きです。

★**理想の男性像** 自分から話してくれる明るい人がいいです。一緒にいて気を遣わない人がいいですね。

★**今やってみたいこと** 今の仕事で一人前になることです。お客さまに商品を気に入ってもらえることはもちろんですが、私自身を気に入ってもらえて、会いに来てくれるような美容部員になれるよう頑張りたいです。

★**登米市について一言** 東北の中では雪が少なく、平地で災害の影響も少ないので、住みやすいと思います。



～「わが家のアイドル」を募集～

市内の3歳までの子どもたちを募集しています。家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
 <応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字以内)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
 〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212IdolMyHome>

電子申請 QR コード



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

牧野 珠奈さん

まきの・しゆな 上沼小5年
中田町・冠木

私の笑顔で世界を笑顔に

私の夢は、みんなを笑顔にさせることです。私は今、舞姿道みろくでよさこいをしています。よさこいは踊りでみんなを笑顔にさせるので、練習はいつも真剣に取り組んでいます。踊りのコツは動きを「びっし」と止めることと視線を上に向けること、そして一番のポイントは、自分が苦しくても笑顔で踊ることです。私の笑顔で見てくれる人を笑顔にしたい。その笑顔を見ると、私ももっともっと笑顔になれるからです。メンバー募集中なのでみんなも一緒に踊りましょう。

もう一つの夢は、看護師になってみんなを笑顔にすることです。重い病気やけがで入院していると気持ちが暗くなると思います。患者さんが少しでも笑顔になれるように、私から笑顔で明るく話し掛けてお世話をしたい。そんなすてきな看護師になって、私の笑顔でみんなが笑顔いっぱいの世界になるようにしたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



二階堂 莉愛ちゃん(1歳)

2018年6月15日生まれ
石越町・遠澤 凌さんの長女
毎日元気いっぱい家族みんなを笑顔にしてくれるわが家のアイドルです。



太田 心桜ちゃん(2歳)

2017年3月24日生まれ
迫町・舟橋 麻璃さんの長女
おむつからばんつになり、すっかりお姉さんに。弟のお世話もしてくれる頑張り屋の心桜ちゃんが大好きです。



佐々木 蒼羽ちゃん(1歳)

2018年5月16日生まれ
中田町・十文字 潤也さんの長女
いつもにこにこ笑顔な蒼羽。お兄ちゃん大好き。これからも2人仲良くすくすく成長してね。

Half Century

寄り添い半世紀

Monthly Hot Communication



榊原 輝彦さん (80)

弘子さん (79)

中田町 要害

1962(昭和37)年9月入籍

言いだいでいづどは言い合わねえど

★二人のなれ初めは

【二人】仲人さんに紹介してもらってお見合いましたね。

★お互いの第一印象は

【輝彦】かわいいと思ったよ。うちで農業やってながら、農家さ嫁いでくれる人だといいな

【弘子】農業やってんのに手がきれいだったから、清潔感のある人だなと思ったよ。

★結婚当時の思い出は

【輝彦】二人でバイクに乗ってそばを食べに行ったり、映画を観たりしたことがな。

【弘子】嫁ぐまで農作業なんてやったことなかったから、最初はうんと大変だった。草取

りしてって言われても、どの草を取ったらいいが分からなくて大変だったね。

★お互いの性格は

【輝彦】何事にも前向きだね。

【弘子】短気などもあつけど、まじめだよ。頼まれると断れない人だね。

★夫婦円満のコツは

【弘子】言いだいでいづどは何でも言い合って納得すること。あとはお互いに感謝の気持ちを持つことだね。

★これからしたいことは

【輝彦】鳴子とか一関とか、近くてもいいから、二人でゆくり温泉さ入りに行きたいね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication



金澤 敏彦さん(74)

東京いしこし会事務局次長
石越町(長根)出身

「私の原点『ふるさと』」

令和元年6月8、9の両日、東京いしこし会の10人でふるさとを探訪した。石越の史跡や登米町の「みやぎの明治村」を中心に観光。さらに、第15回神楽共演石越大会を拝見し、密度の濃い2日間を過ごした。後日、参加者の探訪記所感を小冊子に編集し、会員などに配布。私は、「ふるさととは魔物」といういささか物騒なタイトルの感想文を提出した。

私にとってふるさととは、わずか10年足らずの幼少期に体験した、寶石のごとく光り輝く全ての環境である。自己感性を育み、感情豊かな人間をつくり上げた場所だった。その故郷での思い出が、現在の私のパワーになっている。苦しみ、楽しみを交えた長

い人生の道のりの中で、このパワーが脳裏をかすめる。幾度となく励まされ、癒されてきたことか。50年以上前、3年間滞在したロンドンでいつも見た夢は、冠雪した富士山と故郷である石越の田園風景であった。ふるさとの思い出は、それほど強烈な援軍になっていた。

長い時の流れによって、私が体験したふるさとと現在のふるさとの姿に生じる差異はときに残酷に感じられる。故郷と長く離れ生活してきた者にとって、体験した実相はいつまでも不変であるが故に、差異による分離感は一層恨めしく、いとおいしい。幼少期に、深く強烈に思い出として受動すればするほど、大きな喪失感を抱くのだが、この感覚はふるさとしか与えてくれない。ふるさととは時間空間を超えた大きなゆりかごである。

「ふるさととは遠きありて思ふもの。そして悲しくうたふもの。よしや、うらぶれて異土の乞食となるとても、帰るところにあるまじや」。室生犀星の有名な詩の一節である。いつか、長年ふるさとで生活した級友たちと、離れた私たちそれぞれふるさと感について話してみたい。

おらほの道の駅

道の駅津山 「もくもくランド」



本館では産地直売所「ときめき野菜」が営業再開。木工品の販売とお食事処「木里口」は、本館隣の物産館で営業しています。

今月は、道の駅津山「もくもくランド」の西條孝一 駅長にお話を伺いました。

Q 昨年の台風19号で大きな被害を受けましたが、現在の復興状況を教えてください。

台風によって建物全体が浸水し、もくもくランドの名物である木工品の約半分が売り物にならなくなってしまいました。

被災した当初は、営業を再開できるのは当分先になってしまおうと思っていましたが、市内外からボランティアに来てくださった皆さんのおかげで、台風の2週間後に仮オー

ブンすることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。木工品も、今までのもくもくハウスではなく、物産館で販売しています。

Q おすすめ商品などを教えてください。

木工品は干支の置物が人気です。産直ときめき野菜では、



2020年の干支である「子」の置物は見た目も可愛く人気商品

季節野菜、漬物などが充実。また、寒い今の時期は「木里口」のまんぷくカレーラーメンがおすすめです。

温かいラーメンやぬくもりを感じる木工品でぜひ心も温まりに来てください。

【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」

☎ 0225(69)2341



麺の下にご飯も入っているまんぷくカレーラーメンはボリューム満点。900円

まちの文芸

短歌

作品募集!

●3月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、1月31日(金)までご応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

朝焼の我が屋の上空餌場へと
みごとなVで一飛乱れず

星 慶堅
(迫)

ゆつくりと星を見たくて露天風呂
寒さ忘れてじっと見ている

三浦 智恵
(迫)

七五三振袖の孫靴をはき
カメラ目線に笑い広がる

千葉 良子
(東和)

琉球と大陸文化融合す
朱塗りの正殿今や幻像

丸山 米子
(東和)

それぞれの「ありがとう」を伝えたくて
稽古に励み公演を待つ

熊谷たかよ
(中田)

抑制のきゆうりの集荷今日で終え
家族ねぎらう美酒買い求む

熊谷タヘ子
(中田)

北上川の流れ望みて山寺の
夫の命日三回忌

酒井みつ子
(中田)

宇宙まで往復出来る今の世に
豪雨水害師走雨とは

千葉 源治
(中田)

夕ぐれ時愛猫の別れただ呆然
そっと抱きしめありがとう九年間

沼倉いね子
(中田)

寒くなり枯れ葉みな落ち裸木の
先に一つのカリンの残る

本宮やつの
(中田)

情報場 広場 Information

催し

子どもたちが描く
登米市の未来



「第12回子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール」の作品展を展示します。子どもたちが地域の魅力を再発見しながら、自由な発想、アイデアで「つながるまち、住みたいまち」をテーマに、未来の登米市を描いています。豊かな感性、創造性に満ちた作品をぜひご覧ください。

【期間】2月7日(金)～16日

**夜間納税相談窓口
(1月・2月分)**

【日時】1月30日(木)
2月27日(木)
いずれも午後8時まで

【場所】総務部収納対策課
(迫庁舎1階)

【問い合わせ】
総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

(日)

【場所】イオンタウン佐沼
【展示作品】小学5年生部門 7校56点、小学6年生部門 12校60点

【問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)
☎0220(22)2173

**東北職業能力開発大学校
東北ポリテクビジョン**

【日時】2月21日(金)午前9時30分～午後5時、2月22日(土)午前9時～午後3時30分

【場所】東北職業能力開発大学校(栗原市築館字萩沢土橋26)

【テーマ】「ものづくりひとづくり 地域とともに」

【内容】▼記念講演 21日(金)午後3時～5時/演題「世界初の宇宙ヨット『IKAROS』の挑戦」講師 相馬央令子氏(宇宙航空研究開発機構)

(JAXA)研究開発員)▼学生による研究発表▼地場産品展示即売会など

【問い合わせ】東北職業能力開発大学校(学務課)
☎0228(22)2082

**石巻高等技術専門校で
技能ふれあい祭り**

【日時】2月29日(土)午前9時30分～午後1時

【場所】石巻高等技術専門校(石巻市門脇字青葉西27-1)

【内容】▼マイカーの無料点検▼金属加工・木工体験▼燃料電池自動車の展示▼体験ゲームコーナー▼軽食販売コーナー▼木工品・金属製品の展示販売(製品購入の申し込みは正午まで。申込者多数の場合は抽選)

【問い合わせ】石巻高等技術専門校
☎0225(22)1719

**北帰する雁を
愛しむ会を開催**

【日時】1月26日(日)午前6時15分～

【場所】伊豆沼観察館前集合

【参加料】無料

【問い合わせ】登米市伊豆沼・内沼サンク

チュアリセンター
☎0220(28)3111
▼新田あるものさがしの会
☎0220(28)2986



**迫支援学校児童生徒の
作品展を開催**

【期間】2月14日(金)～17日(月)

【時間】イオンタウン佐沼の営業時間内(17日は午後3時まで)

【場所】イオンタウン佐沼(セントラルコート)

【内容】▼児童生徒の作品展▼高等部生徒による作業製品の販売 2月15日(土)午前11時30分～午後0時45分

【問い合わせ】宮城県立迫支援学校(担当 河原)
☎0220(22)9484

**第9回佐沼地区
コミュニケーション祭り開催**

地域の人が集い、人と人がつながる豊かなコミュニケーションを目指して「第9回佐

確かな技術で まかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN
熊谷燃料住設株式会社

快適生活 創造企業
ドリームくん

災害時安定供給施設

■アクアショップ KUMANEN ■BFC くまねん 【関連企業】
■コインランドリー-清潔空間 ■なごみの家きらり ■網ネオウイング

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田 120 番 1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

住宅入居者を募集	
募集する住宅	
市営住宅	中田加賀野住宅2号(平成5年) (中田町石森字加賀野一丁目12番地3) ▶ 募集戸数=1戸(4DK)/家賃月額=2万3200円 ~3万4600円/駐車場利用は1台まで
	豊里下町第2住宅6号(平成17年) (豊里町下屋浦301番地6) ▶ 募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万2900円 ~3万4100円/駐車場利用は1台まで
	米山西野第二住宅2-8号(平成2年) (米山西野字見通70番地1) ▶ 募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=1万5700円 ~2万3400円/駐車場利用は1台まで

【入居資格】 住宅に困っている世帯
 ※市営住宅は低所得世帯であることなどの入居要件があります。詳しくは住宅都市整備課へ問い合わせください
 ※駐車場利用は、別途1台2千円かかります
【申込期限】 2月3日(月) ※期限厳守・郵送不可
【申し込み】 各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課
【問い合わせ】 建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
 ☎0220(34)2316

募集

☎0220(22)7324

農業委員・農地利用 最適化推進委員を募集

沼地区コミュニティ祭り」を開催します。郷土料理の餅やはつとの提供、体育館では昔ながらの遊び体験ができ、子どもから大人まで楽しめます。
【日時】 2月23日(日)午前9時~午後3時
【場所】 迫公民館、迫体育館
【内容】 各町内会の演芸発表、作品展示、ハンドマッサージ&カフェ(無料)、工作体験 ※軽食コーナーでは、餅やはつとを500食限定で無料提供します。はすれくじなしの抽選会もありますので、ぜひご来場ください
【入場料】 無料
【問い合わせ】 佐沼地区コミュニティ推進協議会(迫公民館内)

市と農業委員会は、7月から活動できる「農業委員」と「農地利用最適化推進委員」を募集します。

■農業委員

【役割】 農地の売買・貸借などによる権利移動の決定、農地転用許可のための審議や会議出席など

【対象者】 農業の識見を持ち、農業委員会の所掌する事項な

どについて、適切に職務を遂行できる20歳以上の人

【定数】 24人

【任期】 令和2年7月24日から令和5年7月23日まで

■農地利用最適化推進委員

【役割】 農地所有者などに農地集積・集約化、遊休農地発生防止の働きかけや農地パトロールなど、担当区域内の現場活動

【対象者】 農地などの利用最適化推進に熱意と識見を持つ20歳以上の人

【定数】 30人

【任期】 委嘱の日から令和5年7月23日まで

■共通事項

【推薦・応募方法】 推薦(団体または3人以上(20歳以上)の連名で推薦)または自ら応募。規定様式に必要な書類を添えて応募してください

【募集期間】 1月22日(水)~2月20日(木)

【報酬】 月額4万6千円

【問い合わせ・応募先】 農業委員会事務局(農政総務係)
 ☎0220(34)2317

任期付幼稚園教諭を募集します

【職種・採用人員】 幼稚園教諭 1人

【任期】 令和2年4月1日~令和3年3月31日

【受験資格】 幼稚園教諭の免許があり(有効期間の更新が必要な場合、更新講習を修了していること)、採用時点で通算3年以上、保育などの業務経験がある人

【受験申込】 申込書や試験実施要綱などは、平日午前8時30分から午後5時15分まで総務部人事課で配布しています。市公式ホームページからもダウンロード可能です。郵便で請求する場合は、封筒の表に「任期付職員(幼稚園教諭)採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼つてある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください

【受付期限】 1月31日(金)

※申込受付は、平日午前8時30分から午後5時15分まで ※郵送の場合は、1月31日必着

【試験日程】 ▼1次試験 II 書類審査 ▼2次試験 II 作文試験、面接試験(2月中旬予定)

※2次試験は1次試験合格者のみ対象

【申し込み・問い合わせ】 総務部人事課(人事研修係)
 〒987-0511 / 登米市 迫町佐沼字中江2-16-1
 ☎0220(22)2145

DAIYU HOME CENTER
ダイユーエイト 登米中田店

新生活用品 取り揃えました!!
※写真はイメージです

毎月8のつく日 **8日 18日 28日** + **毎週土曜日**

税抜**3,000円**以上お買上げで

ポイント 5倍

ダイユーエイト登米中田店案内図 広告

宮城県登米市中田町石森字駒率400
TEL 0220-23-9433
 営業時間 あさ8時~よる8時まで

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

高度な生産技術を伝授 春の農産物栽培講習会

種苗・農業資材メーカーが勢ぞろいし、野菜の品種ごとの育て方や農業資材、肥料の使い方などを講習します。

【日時】2月13日(木)午前10時～午後3時

【場所】中田農村環境改善センター

【定員】160人

【参加料】無料(昼食希望の場合は実費がかかります)

【問い合わせ】高信種苗店
☎ 0220(34)2702

大学通信教育 合同入学説明会を開催

通信教育の春期学生を募集している大学や大学院、短期大学による合同入学説明会を開催します。

【日時】2月2日(日)午前11時～午後4時

【場所】イベントホール松栄(仙台市宮城野区榴岡1-2-8松栄不動産本社ビル)

【対象者】一般、高校生

【参加校】法政大学、中央大学、日本大学、武蔵野美術大学、東北福祉大学など全33校

【問い合わせ】私立大学通信教育協会

☎ 03(3818)3870

お知らせ

子どもの教育資金

日本政策金融公庫が支援

日本政策金融公庫の教育一般貸付「国の教育ローン」は、高校や大学などへの入学時、在学中に必要な費用を対象とした公的な融資制度です。利用条件など、詳しくは問い合わせください。

【融資額】子ども1人当たり350万円以内

【金利】年1.66%(固定金利) / 母子・父子家庭、世帯年収200万円(所得122万円)

以内の人、子どもが3人以上の世帯で世帯年収が500万円(所得346万円)以内の人は、年1.26%(令和元年11月1日現在)

【返済期間】15年以内 / 交通遺児家庭、母子・父子家庭、世帯年収200万円(所得122万円)以内の人、子どもが3人以上の世帯で世帯年収が500万円(所得346万円)以内の人は、18年以内

【使用用途】入学金、授業料、教科書代、アパート・マンションの敷金・家賃など

ねんきんだより

国民年金保険料は 口座振替がお得です

国民年金保険料の納付に、口座振替が利用できます。口座振替を利用すると、保険料が自動的に引き落とされます。金融機関などに行く手間が省かれ、納め忘れもなくなるとも便利です。また、当月分保険料を当月末に振替納付することで、月々50円割り引かれる早割制

度、現金納付よりも割引額が多い6カ月前納、1年前納や2年前納もあり、お得です。口座振替を希望する場合は、納付書か年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参し、希望の金融機関または年金事務所へ申し出ください。

【問い合わせ】

▼古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

▼市民生活部国保年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166

☎ 0225(94)1201

自動車の名義変更や 車検はお早めに

毎年3月は、名義変更の手続きなどが集中し、大変混雑します。週末などは、特に混雑が予想され、待ち時間が長時間になります。早めの手続きにご協力をお願いします。

【問い合わせ】

▼軽自動車に関すること
軽自動車検査協会宮城主管事務所
☎ 050(3816)1830

●●働く会社●● 法事・宴会 広告

株式会社 刺蒸くまがい

中田中学校通り 0220-34-5002

(株)市民葬祭

誠香社

葬儀からご法要までの一環システム

登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます)

24時間受付 0220-34-4856(代表)

登米祝祭劇場 2月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1/11(土) ～ 2/29(土)	<p>●野家一行 似顔絵展「NIDEPPEGA 5」</p> <p>【時間】午前9時～午後5時 最終日は午後3時まで</p> <p>【会場】事務室前通路</p> <p>【入場料】無料</p>	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
15(土)	<p>●生活困窮者自立支援フォーラム</p> <p>【開演】午後1時30分</p> <p>【会場】小ホール</p> <p>【入場料】無料</p>	スマイルむさし ☎ 0220(41)9035

※2月の休館日は、3日、10日、17日、24日です

Jアラートの緊急情報を即時に 情報伝達試験を実施

全国瞬時警報システム(Jアラート=国から配信される情報伝達システム)から送られてくる武力攻撃などの緊急情報を、防災行政無線などで確実に皆さんに伝えるため、情報伝達試験を実施します。

【日時】2月19日(水)午前11時ごろ

【問い合わせ】総務部防災課(防災危機対策係)

☎0220(22)2130

情報伝達手段	放送内容(訓練)
①防災行政無線	市内に設置している全ての防災行政無線から、一斉に次のように放送します。 【放送内容】(上りチャイム音)→「これは、Jアラートのテストです」×3回→「こちらは、防災登米市広報です」→(下りチャイム音)
②コミュニティFM放送※	コミュニティFM「はっとエフエム」で、次の内容を放送します。 【放送内容】(無音1秒程度)→「こちらは、登米市役所です。緊急放送をお知らせします。発表日時2020年2月19日〇時〇分〇秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」
③登米市メール配信サービス	登米市メール配信サービスに登録している人のパソコンや携帯電話に、次の内容のメールを送信します。 【送信内容】件名：即時音声合成メッセージ発表／本文：「発表日時2020年2月19日〇時〇分〇秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」

※緊急告知ラジオでも、同様の内容が放送されます。緊急情報のテストのため、音量調整つまみの設定にかかわらず最大音量で放送されます(放送中は音量調整ができません)

▼自動車に関すること Ⅱ 東北運輸局宮城運輸支局
☎022(235)2517

農業振興地域整備計画を見直します

市は、令和2年度中を目途に、農業振興地域整備計画を見直します。この計画は、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業の健全な発展や農地の合理的な利用に役立てるための基本計画です。

農振農用地に指定されている農地を宅地などに利用する

場場合は、農振農用地からの除外(農振除外)の申し出が必要で
です。
通常は年4回(6月、9月、12月、3月末締切)受け付けていますが、令和2年4月1日から令和3年3月31日までは、計画策定に伴う調整などにより、農振除外の申し出や用途区分の変更の申し出は受け付けできませんので、ご理解とご協力をお願いします。

見直し前の農振除外などは、令和2年3月末までに届け出が必要です。見直し後の受付再開は、令和3年4月を

予定しています。

【問い合わせ】産業経済部産業振興課(産業総務係)
☎0220(34)2716

農林業センサスを実施します

農林水産省では、令和2年2月1日現在で「2020年農林業センサス」を実施します。この調査は、5年ごとに実施され、農林業の実態を明らかにする最も基本的な調査です。

1月中旬から下旬にかけ



農林業センサスマスコットキャラクター「つつちー」

て、調査員が対象者の家や事業所を訪問し、調査票の記入をお願いしています。調査票に記入された事項は、統計以外目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。

【問い合わせ】企画部企画政策課(企画政策係)
☎0220(22)2147

人と環境への新しい優しさを目指して
お気軽にご相談下さい

株式会社 清建

本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

有限会社 **清建物流**
TEL.0220-22-9430
FAX.0220-21-1535
本社/〒987-0512
宮城県登米市迫町森字平柳14-1

環境プロバイダ

有限会社 **リースキン宮城**
TEL.0220-22-3431
FAX.0220-22-3495
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字
下田中53番地8

仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目181 泉ネットワーク・ビル2階 広告
TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980
南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122
URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所
有限会社 **はさま看護婦・家政婦紹介所**
すずらん託児室・保育園
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
[すずらん託児室] TEL.0220-22-7755

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

みやぎ介護人材を育む 取組宣言認証制度

「取組宣言認証制度」は、介護職員の育成や働きやすい環境づくりに取り組んでいる介護事業所が宣言し、宮城県介護人材確保協議会が認証することで、介護に携わる人をサポートする制度です。

宣言・認証事業所は、みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度のホームページで公表しています。介護の仕事を探している人や介護事業所を利用したい人などは、ぜひ活用してください。

【問い合わせ】

▼みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度事務局
☎ 0222(343)8565

▼県保健福祉部長寿社会政策課(運営指導班)
☎ 0222(211)2556

相談

もの忘れ(認知症)相談 精神科医が応じます

高齢者で「最近物忘れが多くなった」「認知症と診断されたが、どう対応すればよいか」など、気になることや困って

いることがあるときはご相談ください。認知症専門医が相談に応じます。

予約が必要ですので、事前に地域包括支援センターに連絡してください。

【日時】2月28日(金)午後1時30分

【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)

■連絡先

迫地域包括支援センター	0220(22)1152
中田・石越地域包括支援センター	0220(34)7611
石越分室	0228(34)4151
東和・登米地域包括支援センター	0220(53)4811
登米分室	0220(52)5090
米山・南方地域包括支援センター	0220(29)5821
南方分室	0220(58)4311
津山・豊里地域包括支援センター	0225(68)3780
豊里分室	0225(76)4811

【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(長寿社会係)
☎ 02220(58)5551

【開所日時】毎週月～金曜/午

就職・仕事の悩み無料相談 みやぎ若者サポステ

【開所日時】毎週月～金曜/午

前10時～午後5時
【場所】みやぎ北若者サポートステーション(大崎市古川旭5-3-3)

【対象】15～39歳の職に就いていない人、その保護者、家族

【申し込み・問い合わせ】みやぎ北若者サポートステーション
☎ 02229(21)7022

【金融機関からの
資金調達をサポート】

宮城県信用保証協会は、中小企業・小規模事業者やこれから事業を始める人が、事業に必要なお金を金融機関から借りる際に、保証人になって借りやすくなるようサポートする公的機関です。ほかにも創業・経営支援などにも取り組んでいますので、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】宮城県信用保証協会大崎支店
☎ 02229(22)0722

【登記手続案内には
事前の予約が必要です】

登記申請の手続案内は、予約制です。手続案内を利用する場合は、法務局窓口または電話で事前に予約してください。

【案内時間】20分以内
【対象】登記申請をする人(親族、法人の従業員などを含む)

【問い合わせ】
▼土地・建物 仙台法務局登米支局予約申込
☎ 02220(52)2070

▼会社・法人 仙台法務局予約申込
☎ 0222(225)5748

【女性のための
面接相談を開催】

DV(ドメスティック・バイオレンス)や離婚、虐待、セクハラ、家族の悩みことなど、人間関係で悩む女性のための面接相談を開催します。一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守ります。

【面接相談】
【日時】2月19日(水)午後1時～4時
【場所】登米保健所
【申込方法】2月18日(火)までに、電話で申し込みください

【申し込み・問い合わせ】県東部保健福祉事務所登米地域事務所
☎ 02220(22)6118

い。予約は、登記手続案内日の1カ月前から受け付けします。

【案内時間】20分以内

【対象】登記申請をする人(親族、法人の従業員などを含む)

【問い合わせ】
▼土地・建物 仙台法務局登米支局予約申込
☎ 02220(52)2070

▼会社・法人 仙台法務局予約申込
☎ 0222(225)5748

【女性のための
面接相談を開催】

DV(ドメスティック・バイオレンス)や離婚、虐待、セクハラ、家族の悩みことなど、人間関係で悩む女性のための面接相談を開催します。一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守ります。

【面接相談】
【日時】2月19日(水)午後1時～4時
【場所】登米保健所
【申込方法】2月18日(火)までに、電話で申し込みください

【申し込み・問い合わせ】県東部保健福祉事務所登米地域事務所
☎ 02220(22)6118

生活や仕事などの悩み 相談に応じます

生活や仕事の悩み、心配事などを専門知識を持つ支援員に相談できます。相談は無料で、秘密は守ります。

■出張相談日程・場所

開催日	時間	場所
1/28(火)	10:00～16:00	上沼ふれあいセンター
2/13(木)		北方公民館
2/25(火)		吉田公民館
3/10(火)		西郷公民館
3/24(火)		浅水ふれあいセンター

【問い合わせ】そえる登米
☎ 02220(23)8610

☎ 02220(23)8665

障がい者の自立に向けて しごと相談を開設

【日時】2月25日(火) ①午前9時30分～ ②午前11時～ ③午後

2月の納税

国民健康保険税・・・9期
介護保険料・・・9期
後期高齢者保険料・・・8期

忘れずに納めましょう
 納税は便利な口座振替で

納期限 / 3月2日(月)

登米市の人口・世帯数

(令和元年12月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計(前月比)
		男	女		
迫	7,550	9,810	10,360	20,170	(▲24)
登米	1,799	2,291	2,478	4,769	(1)
東和	2,325	3,036	3,123	6,159	(▲14)
中田	5,174	7,657	7,945	15,602	(▲18)
豊里	2,137	3,206	3,256	6,462	(▲5)
米山	2,849	4,439	4,546	8,985	(▲15)
石越	1,568	2,382	2,383	4,765	(▲18)
南方	2,707	4,162	4,343	8,505	(▲32)
津山	1,146	1,519	1,660	3,179	(▲12)
合計	27,255	38,502	40,094	78,596	(▲137)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(令和元年12月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R1	H30	増減数
人身事故発生件数	149件	182件	▲33件
死者数	3人	4人	▲1人
負傷者数	180人	231人	▲51人
物損事故発生件数	1,378件	1,581件	▲203件

※平成31年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

交通事故を未然に防ぐには「〇〇かもしれない運転」を心掛きましょう。

信号機がない交差点や見通しの悪い交差点では、「車や人が飛び出してくるかもしれない」という意識を常に持ち、スピードを落として、いつでも停止できるようにブレーキペダルに足を乗せておきましょう。

市内放射線の測定結果

測定日: 令和2年1月1日 単位: マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.05	晴れ
消防署北出張所(石越)	0.04	晴れ
消防署東出張所(東和)	0.04	晴れ
消防署津山出張所	0.05	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.04	晴れ
消防署西出張所(南方)	0.04	晴れ

空間放射線量の測定結果は市公式ホームページに掲載しています。

1時30分～④午後3時
【場所】県東部保健福祉事務所
 登米地域事務所
 ※職業のあつせんではありませんでご注意願います
【相談申し込み・問い合わせ】
 ▼障害者就業・生活支援センター「ゆい」
 ☎ 0220(21)1011
 FAX 0220(21)1012
 ▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
 ☎ 0220(58)5552
 FAX 0220(58)2375

**一人を抱え込まないで
 多重債務者無料法律相談**

【日時】2月28日(金)午後1時15分～4時15分

子どもについての悩み ご相談ください

子どもに関する悩みに経験豊かなカウンセラーが相談に応じます。相談は無料で、秘密は守ります。

【相談場所】市視聴覚センター
【相談方法】面接相談、電話相談とも要電話予約
【予約時間】月～金曜(祝日を除く)午前8時30分～午後5時

【場所】迫にぎわいセンター
【担当】開発健次(弁護士)
【相談専用電話】
 ☎ 0220(34)2308
【相談料】無料(要電話予約)
【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)
 ☎ 0220(34)2734

■カウンセラーによる教育相談日

相談日		相談時間
1月	28日(火)	①10:00～10:50 ②11:00～11:50 ③13:00～13:50 ④14:00～14:50 ⑤15:00～15:50 ⑥16:00～16:50
2月	4日(火)、18日(火) 25日(火)	
3月	3日(火)、10日(火) 17日(火)	

除く午前8時30分～午後5時

【相談専用電話】
 ☎ 0220(22)8125
【申し込み・問い合わせ】市教育研究所
 ☎ 0220(22)8029

**年金相談に応じます
 年金相談所を開設**

年金の相談に応じます。相談は完全電話予約制。前日までにご連絡ください。
【日時】2月27日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時
【場所】市役所南方庁舎(2階図書室)
【申し込み・問い合わせ】古川年金事務所
 ☎ 0229(23)1204

**パソコン相談・講習会
 2月の予定**

■無料相談室
【日時】2月23日(日)午前10時～正午
【場所】迫町内(詳細は問い合わせください)
【申込期限】開催日の5日前
■講習会
【開催日時】①引越しのはがき②2月11日(火)午前10時～正午③基本操作④2月18日(火)午前10時～正午
【場所】迫にぎわいセンター
【参加料】2千円
【申込期限】開催日の前日
【申し込み・問い合わせ】パソコン・ネット・みやぎ
 ☎ 0220(21)5262

ときめき人

Tokimeki bito



優しさの シンボル掲げ 早期発見、治療を 呼び掛け

追町・永田

尾形 賀代さん

おがた かよ
1974年生まれ 血液型/B型

Profile

栗原市栗駒出身。医師事務
作業補助者として働く傍
ら、乳がんの啓発活動を続
ける。夫と3人の子どもの
5人家族。



(右)ピンクリボンは、乳がんの啓発運動を表
すシンボル。アメリカで乳がんによって亡く
なった人の家族が「悲劇が繰り返されないよ
うに」と願いを込めて作ったりボンが起源。



「乳がんは早期に発見することで、高い確率で治るといわれています。患者本人はもちろん家族を含め、悲しい思いをする人を減らしたい」と乳がん啓発への思いを口にする。

尾形さんは2018年12月、乳がんの早期発見、治療の大切さを啓発する市民グループ「ピンクリボン～プレストサポートTOME」を創設。ピンクリボンは、検査や早期受診の推進など、世界規模の啓発キャンペーンを表すシンボルになっている。

創設のきっかけは、乳がんを患った人から「忙しくて乳がん検診を受けず、発見が遅れてしまった」と後悔の声を聞いたこと。後悔する人を減らしたいと乳がんについての勉強を始め、ピンクリボンアドバイザー認定試験を受験。初級、中級に続けて

合格し、今後は上級の合格を目指す。

現在、グループは40、50代のメンバー5人で活動。イベントでの啓発やフェイスブックでの情報発信、メールで相談に応じている。「啓発活動をする事で、過剰に心配を与え不安にさせてしまうという声もありますが、今は11人に1人が乳がんになる時代。誰でも発症の可能性があります。月に1回、セルフチェックをすることで、普段の状態を知り、異常があったときの早期発見につなげてほしい」と活動の意義を訴える。

今後は学生向けのがん教室など、若い世代にも啓発を広げていく予定。一人でも多くの人の早期発見につながるよう、ピンクのリボンを掲げ、正しい知識を伝えていく。

編集後記

▼2020年は私にとって40歳を迎える節目の年。40歳を過ぎると疲れやすくなるなど、体質が変わると耳にすることがあります。仕事、健康、家族に変化がある年代でもあります。公私共に忙しくなりそうですが、健康に気を付けて過ごし、来年の本厄に備えたいと思います。(高橋)

▼新年を迎え、厄払いを兼ねた同級会へ出席。久しぶりでしたが、久しぶりに再会した旧友らは、学生時代と変わらず、懐かしい顔ぶれに囲まれながら楽しいひとときを過ごさせてもらいました。(三浦)

▼新年を迎え、私も厄払いを兼ねた同級会へ参加。会場では、3町域の厄払い兼同級会が開催されていました。厄を払い、同級会までセットで開催するというのは全国的なものではなく、東北地方に伝わるイベントのようです。もはや、地元の伝統行事といえるのかも知れません。(小野寺)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>

